

# LIXIL 鋳物アームRF錠

## 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。  
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

### 安全に関する記号 記号の意味



**警告**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。



**注意**

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

### 一般情報に関する記号



**ポイント**

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



**補足**

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

## <施工の前に>



**警告**

- 門扉は人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時の扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。
- 門扉の種類によっては、デザイン上格子間のすき間が大きく頭や足が入りやすいものがあります。段差のある場所や高所への施工は控えてください。重大な事故につながるおそれがあります。



**注意**

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。



**ポイント**

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 指定寸法は必ず守ってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

## <施工上のご注意>



**ポイント**

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
  - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
  - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
  - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

**注意**

- 製品の強度低下、またはケガの原因となりますので、下記事項をお守りください。
  - ・ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
    - M4ネジ：2.5N・m±0.5N・m (25±5kgf・cm)
    - M5ネジ：3.0N・m±0.5N・m (30±5kgf・cm)

**梱包明細表**

【1】 鋳物アームRF錠セット

名称	略図	員数	
		片錠	両錠
錠掛け側 片開き用		1	—
錠掛け側 両開き用		—	1
錠受け側 片開き用		1	—
錠受け側 両開き用		—	1

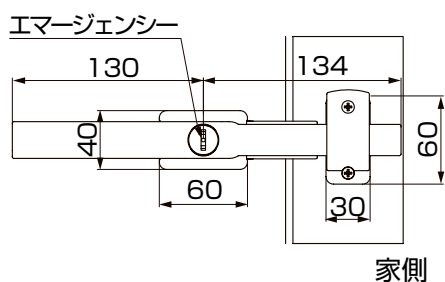
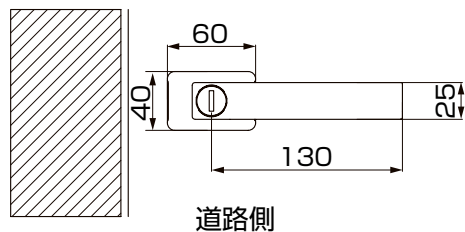
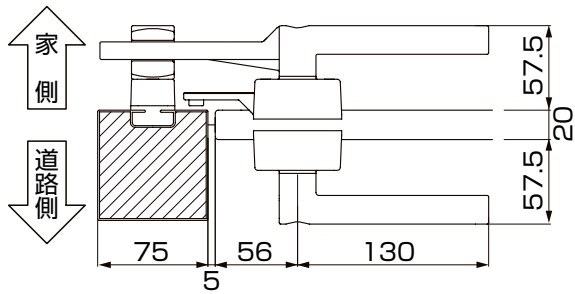
【1】 鋳物アームRF錠セット (つづき)

名称	略図	員数	
		片錠	両錠
サムターンツマミ		1	1
【1-1】φ3×25 ナベタッピンネジ1種		1	1
【1-2】M5×30サラ小ネジ		2	—
シリンダーキー		3	3
取付説明書 (A578)	—	1	1
取扱説明書 (UA211)	—	1	1

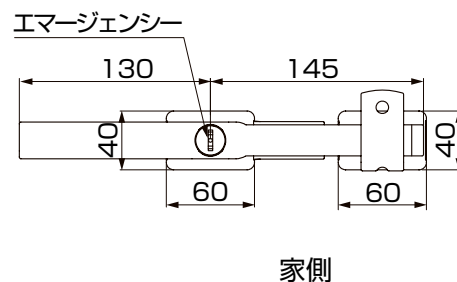
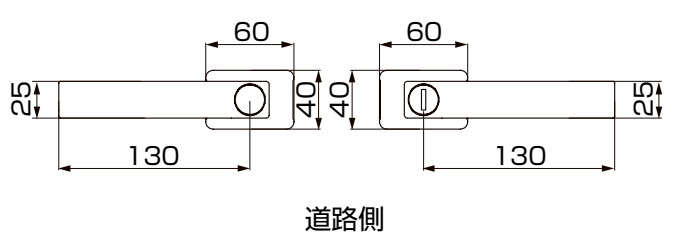
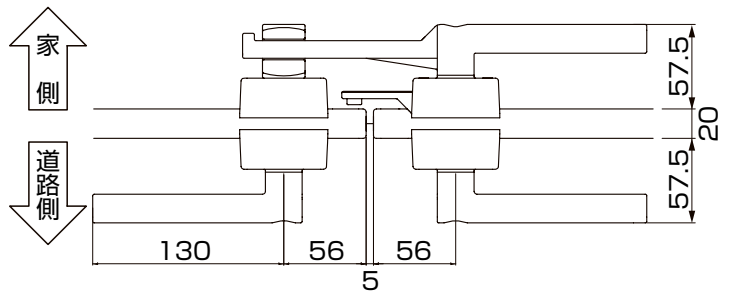
**1. 錠の納まり寸法**

※図は右勝手を示します。

**1-1 片錠**



**1-2 両錠**



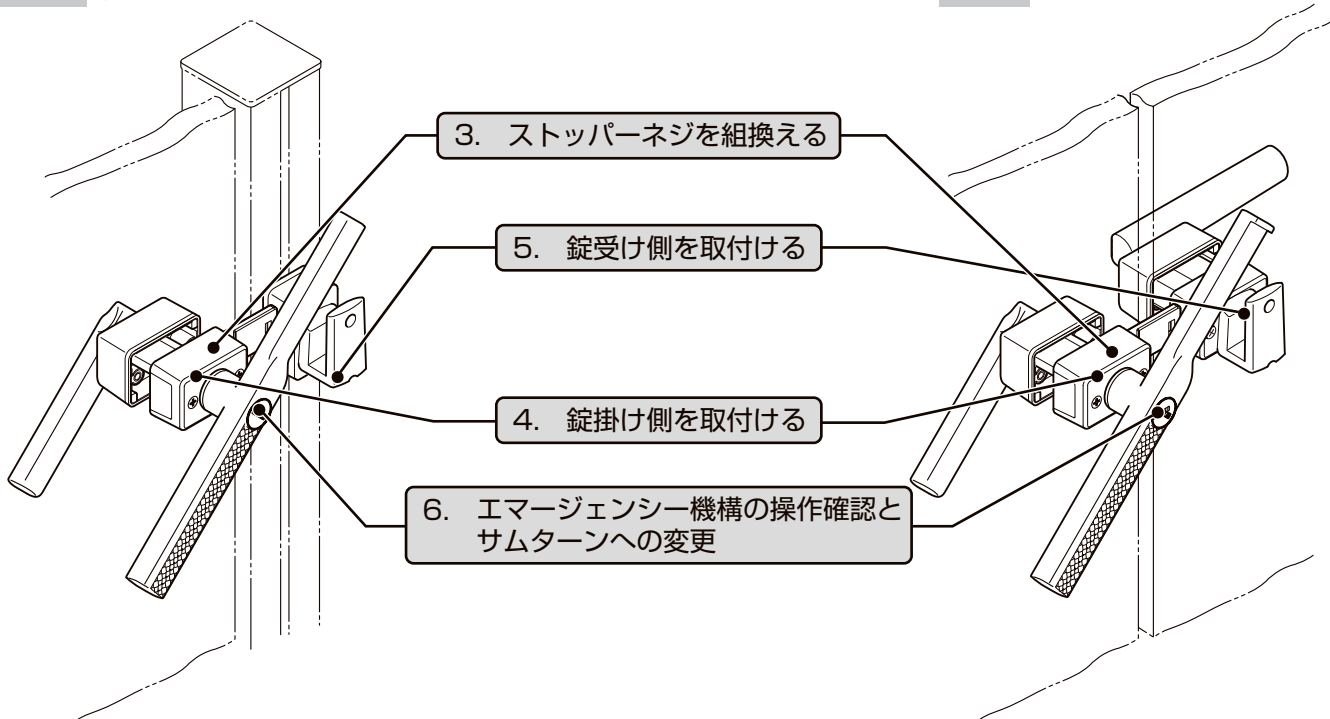
## 2. 取付けの流れ

※図は右勝手、内開き仕様を示します。

●下記、3.~6.の順に施工してください。

### 2-1 片錠

### 2-2 両錠



## 3. ストッパーネジを組換える

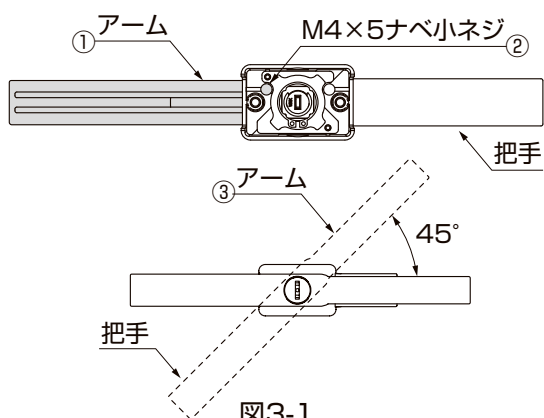


図3-1  
右勝手の場合

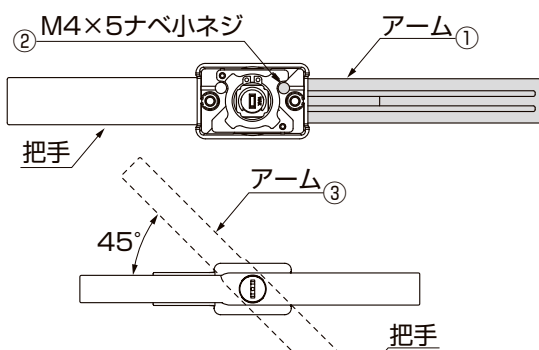


図3-2  
左勝手の場合

①錠掛け側のアームの向きを、右勝手・左勝手の場合にあわせてください。

(図3-1、図3-2参照)

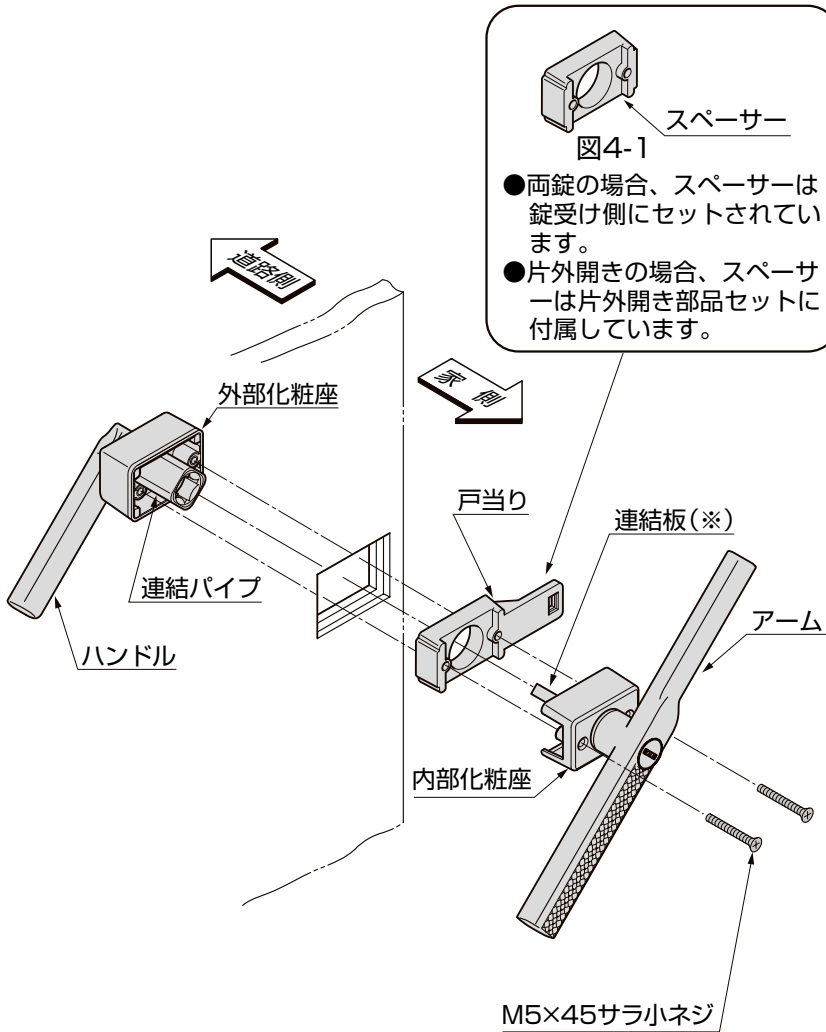
②M4×5ナベ小ネジを組換えてください。

③アームが約45度でストップすることを確認してください。

#### ポイント

- 出荷段階では、アームの向きは右勝手の状態にセットされています。
- 外開きの場合は、M4×5ナベ小ネジを絶対に取外してください。門扉本体の開閉ができなくなります。

## 4. 錠掛け側を取付ける



①図にしたがって、錠掛け側を門扉に取り付けてください。

### ポイント

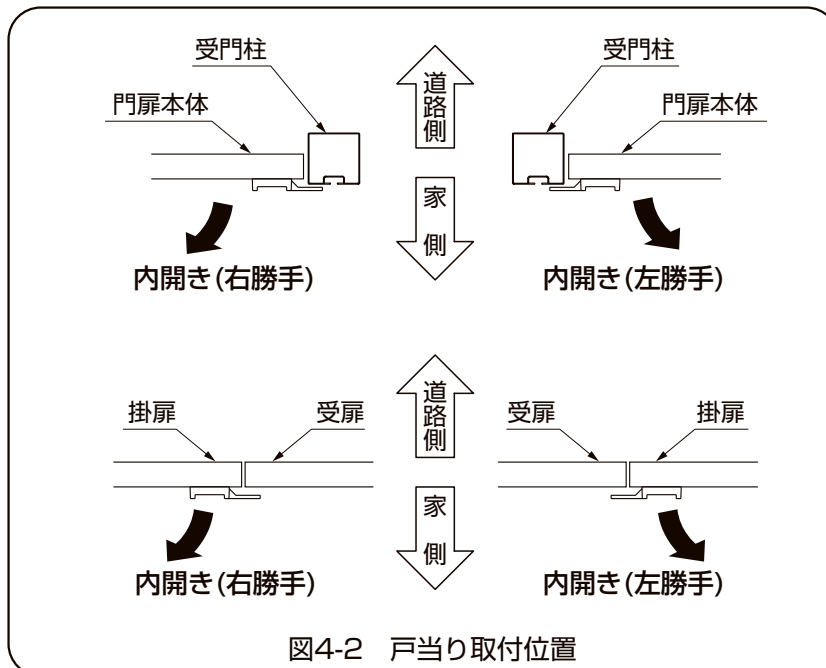
- 出荷段階では右勝手、内開き仕様の状態にセットされています。仕様に応じて、錠掛け側を組替えてください。
- 外開き時は戸当りをスペーサーに換えてください。(図4-1参照)

### 補足

- 内開き時の戸当りを取付ける位置は、図4-2を参照してください。

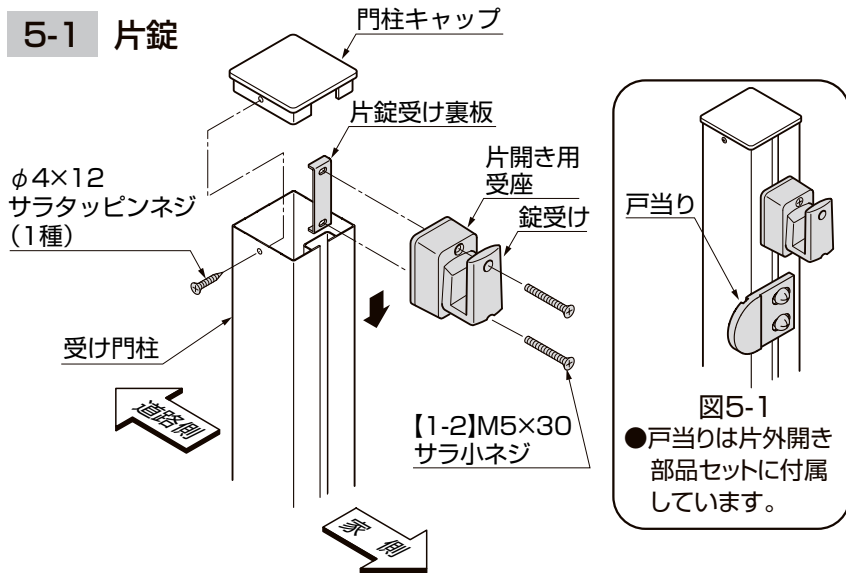
### ポイント

- 連結板(\*)をハンドル側にしっかり組付けてください。



## 5. 錠受け側を取付ける

### 5-1 片錠



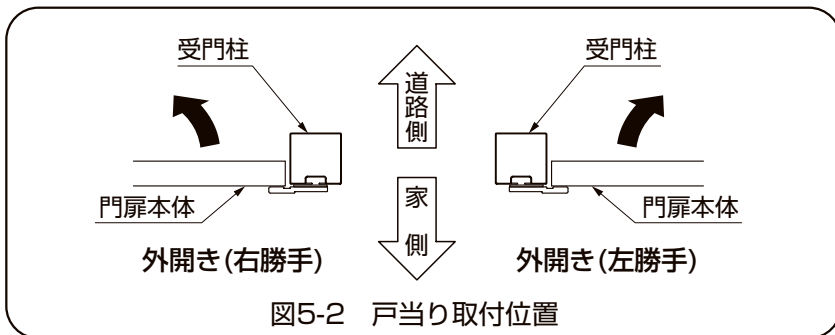
①図にしたがって、片錠受け側を門柱に取付けてください。

#### ポイント

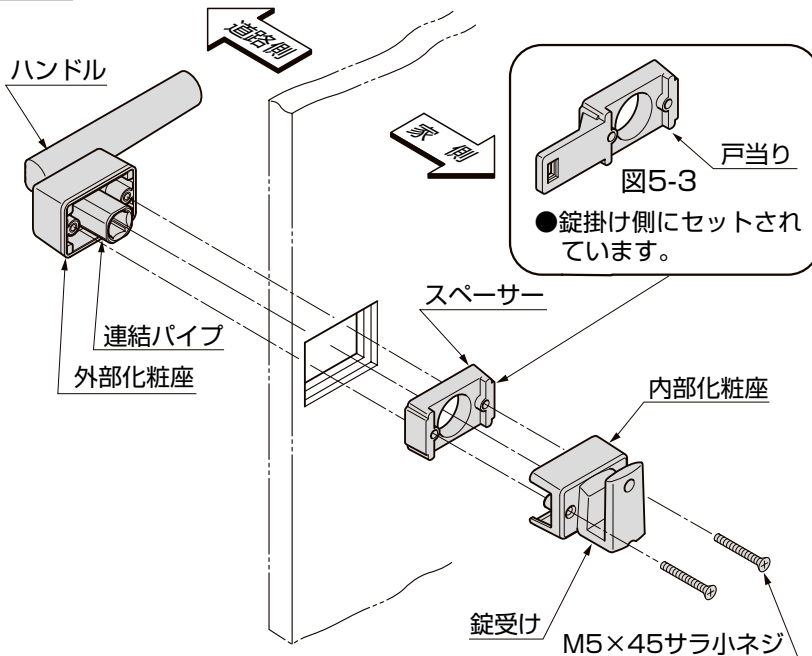
- 片錠受け裏板は門柱キャップを取外してから取付けてください。
- 片錠受け裏板は、門扉取付部品セットに付属しています。
- 外開き時は、門柱に戸当りを取付けてください。(図5-1参照)

#### 補足

- 外開き時の戸当りを取付ける位置は、図5-2を参照してください。



### 5-2 両錠



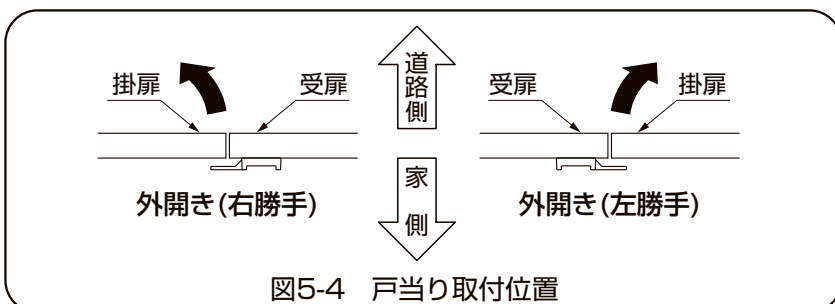
①図にしたがって、両錠受け側を門扉に取付けてください。

#### ポイント

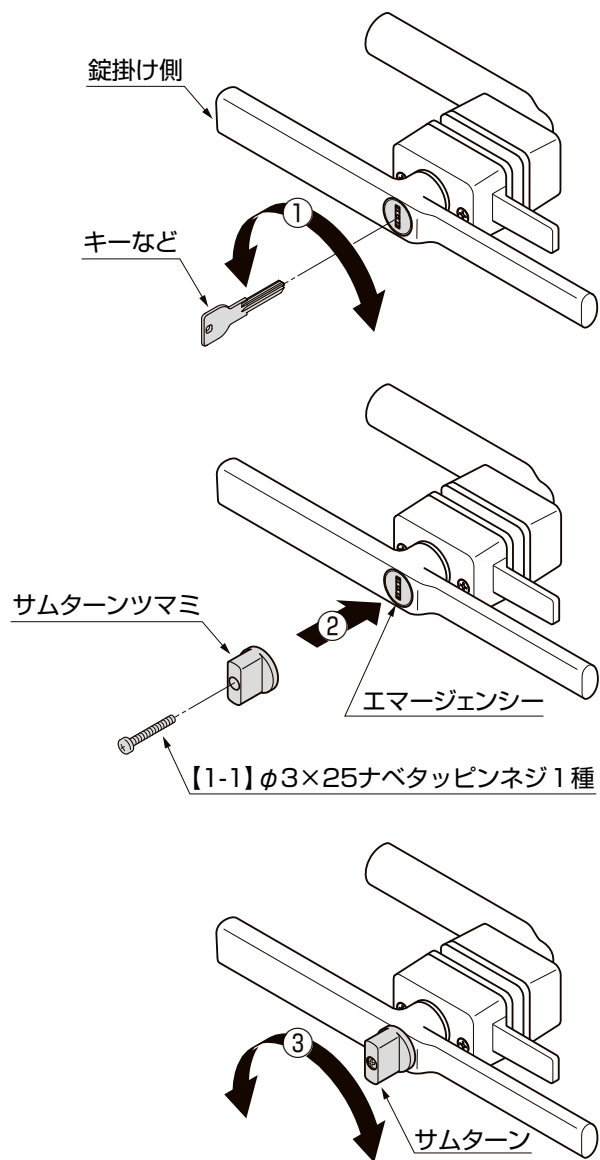
- 出荷段階では、右勝手、内開き仕様の状態にセットされています。仕様に応じて、錠受け側を組み替えてください。
- 外開き時は、スペーサーを戸当りに換えてください。(図5-3参照)

#### 補足

- 外開き時の戸当りを取付ける位置は、図5-4を参照してください。



## 6. エマージェンシー機構の操作確認とサムターンへの変更



①施錠・解錠するには、2.5mm×11.2mm幅の溝に入るキーの先端やコイン、マイナスドライバーなどを差込んで回転してください。

### 補足

- エマージェンシー機構は、家側からの施錠・解錠操作が素手ではできないので、外側から手を伸ばして解錠する、等のいたずらを制約することができます。
- エマージェンシー機構は、いたずらのある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。

②サムターンへ変更する場合は、【1-1】でサムターンツマミを取付けてください。

③サムターンを回して、施錠・解錠の操作を確認してください。

# メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

取説コード

**A578**

JZZ625071B  
201303A\_1047  
201607B\_1047